

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第2回 上尾市男女共同参画審議会
開催日時	令和7年2月6日(木) 10時00分から12時05分まで
開催場所	上尾市役所 本庁舎7階 大会議室
議長(委員長・会長)氏名	石川 裕一郎
出席者(委員)氏名	酒井 憲司、浅沼 正義、船生 養子、野口 佳織、一ノ瀬 隆、 内田 富美代、甲原 裕子、石井 裕幸、浅賀 祐子
欠席者(委員)氏名	小野 陽平、尼崎 慎一郎
事務局(庶務担当)	市民生活部 畑部長 人権男女共同参画課 内山課長、田村主幹、小暮主任、内田事務業務員 環境総合研究所 大谷氏、野口氏
会議資料 議事の経過 事項	第2回会議
	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議 事 上尾市男女共同参画市民意識調査・実態調査報告書(案)について 4. 報告事項 ① 審議会等における女性の登用状況(令和6年10月時点) ② 困難女性支援ネットワーク講演会について ③ 第25回あげおヒューマンライツミーティング21について 5. 閉 会
	別紙のとおり
資料1: 上尾市男女共同参画市民意識・実態調査報告書(案) 資料2: 審議会等における女性の登用状況(令和6年10月時点) 資料3: 審議会等における女性の登用状況 年度比較 資料4: 困難女性支援ネットワーク講演会実施報告書 資料5: 困難女性支援ネットワーク 毎日新聞記事 資料6: 第25回あげおヒューマンライツミーティング21事業実施報告書 資料7: 第3次上尾市男女共同参画計画の目標値と意識調査・実態調査結果比較	
会議の名称	令和6年度 第2回 上尾市男女共同参画審議会
開催日時	令和7年2月6日(木) 10時00分から12時05分まで
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 2025年 3月 20日 議長(委員長・会長)の署名 _____ 石川 裕一郎 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)	

議 事 の 経 過

発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	●開 会
市民生活部長	●会長挨拶
	●市民生活部長挨拶
事務局	●第 2 回審議会開催 資料の確認
課長	●定数報告 出席者： 1 0 人 欠席者： 2 人 (上尾市男女共同参画推進条例「第 1 7 条 2 項の規定」により成立)
課長	●非公開内容の確認 非公開内容はなし 会議は公開
課長	●傍聴希望者の確認 傍聴希望者はなし
会長	●議事 「上尾市男女共同参画市民意識調査・実態調査報告書(案)」について
事務局	上尾市男女共同参画市民意識調査・実態調査報告書(案)の調査概要、調査結果概要、結果詳細の見方(比較や凡例等)の内容を説明
事務局	第 3 次上尾市男女共同参画計画の目標値と意識調査・実態調査結果比較を説明
委員	●質疑応答 上尾市の満 18 歳以上の人口が 16~17 万人であるのに対して、調査依頼が 2,000 人、回答数が 551 人というのは、統計的に実態を正しく表しているものなのか。
委員	7 頁の回収状況をみると、18 歳~29 歳の回収率が低く、7.8%にとどまっている。一方、60 歳以上でみると 40.6%の方が回答している。また、男女で回収率に差があり、女性が 59%となっている。 回答結果に高齢者が多いと、比較的保守的な考えの方が多くなる傾向となり、目標値の性別の分担意識でも 48.1%にとどまっている。一般的には男女共同参画に対する意識が高まっているので、この結果は実態より低く出ているのではないかと思う。この調査に偏りはないのか、見解を訊きたい。
事務局	統計調査の信頼度について、今回のような一般のアンケートは母集団があり、その中からピックアップした方に対して郵送し、さらに回答いただいた内容を分析しているため、出てきた数字に対しては一定程度の誤差は生じる。 ただし、統計学的に信頼できると判断する基準があり、上尾市の総人口に対してその基準をクリアするために必要な数は約 380 件である。したがって、551 件であれば上尾市全体を母集団とした時の素集計の場合においてはその基準をクリアしているといえる。

事務局	年代によって回答率に差があることについて、上尾市の人口の年齢分布に従った回答数が得られれば上尾市の平均的な意見を反映した結果であるといえるが、今回からインターネットでの回答を可能にしたにもかかわらず、印象として若い方からの回答は期待するほど得られなかった。 ただ、高齢の方の意見に引っ張られている結果であること踏まえて、年代別のクロス集計を行ってはいる。 市の課題を判断する場合には、クロス集計の結果に基づいた分析が非常に重要になると思っている。
会長	そもそも「民意とは何か」という根本的な問題がある。いずれにしても、ここでは幅を持ってみるのが大事であると感じた。
委員	報告書の開示範囲を訊きたい。
事務局	市民に公開する。
委員	市民も調査の信頼度について同じ疑問を持つと思う。分かりやすい文章で報告書に載せたほうがよいのではないか。 7 頁の回収数について、郵送とインターネットの比率・回答率も載せたほうがよいのではないか。 次回以降、郵送とインターネットを続けても同じような回収率だと思う。他の自治体や国も知恵を出していると思うため、知見を参考にするのもよいと思う。 令和 2 年と令和 6 年を比較しているが、課題に対して取り組んできた施策と結果の観点が記載されていると、見る人は分かりやすいと思う。また、そうすることで改善の気付きにもつながると思う。
委員	46 頁、47 頁の子育てのかかわり方のところで、男性 20 歳代のグラフがない。回答数が無く削っているのか、ミスプリントなのかが分からない。回答数が無いのであれば、そのことを残してもらえると分かりやすい。 凡例が小さく、白黒印刷ではどの凡例なのか判別がつかない。120 頁の凡例も男性か女性かわからない。凡例を大きくできないか。 結果グラフで、男性が上にあり女性が下にある。この部分も「男女共同参画」という観点からするとどうなのか。 また年代別の比較が男性・女性で分けられているため、分かりにくい。 117 頁、118 頁で比較が見開きで見られない。
事務局	お礼状を出すことで回答数が上がる事例もあるため、次回以降検討していく。 報告書の表現や見づらさについては、全てに込えられるかはわからないが、最終稿までに可能な限り対応していく。 今回、配布資料では白黒印刷で配布しているが、公開の際はカラーで作成するため、凡例は見やすくなっていると思われる。
委員	凡例は斜線などの模様が見えにくいため、区別がつかない。その改善はできるのか回答をお願いしたい。

事務局	すべての箇所に対応できるかはわからないが、今よりも大きくできる箇所は見直しを検討する。
委員	可能であれば、全体や男女でグラフの間隔を空けて見やすくしてほしい。
委員	ホームページへの掲載は、章ごとにリンクを付けて見たいページにいくように作れるのであれば、スクロールの手間がなくなる。
会長	回答数を上げる件で、アンケート結果をどのような施策につなげているのか、周知することで意見が届いたと実感があり、回答意識の向上につながると思う。 見やすさについては、文字を大きくすればページ数が増える、文字が小さ過ぎれば読みにくい、カラーは見やすいがコストはかさむなど、バランスが難しい。ネットで公開する場合は、拡大して見ることやカラーでもコストは変わらないため、紙媒体とオンラインでの公表の手法を変えられれば良いと思う。また、目次から各項目へリンクを設定することは可能なため、コストが比較的にかからず対応できる工夫ができると良いのではないかな。
委員	回収率を上げる件で、育児について子育て現役世代からの回答が無いと調査にならない。 127 頁の防災についてのリーダーはどちらが多いかという設問について、意図がよくわからない。わからないまま回答している人もいると思われる。設問で意味の薄いものや効果が得られないものについては精査して削除するなど、スリム化が必要だと思う。忙しく働いている人は膨大な設問に回答する余裕がないのではないかな。
委員	母集団とは別に、例えば子育て現役世代などには、こどもが集まる所や公民館などに二次元コードを貼ってアンケートを答えられるようにすれば、参考意見を聞くことができるのではないかな。 インターネットなどを活用して、コスト増にならない程度に、広く意見を聞くことが大事かと思う。
委員	インターネット回答の方はアンケートを上から順にすべてやっ払いこうとすると、忙しい方は途中で終えてしまうのではないかな。部分的に回答できるようにすれば回答数も上がると思う。
会長	インターネット回答では、設問を飛ばす（スキップする）ことはできるか。
事務局	回答したくない箇所はとばして送信は可能である。
委員	暴力についての認識について、以前は物理的・肉体的なものだけが暴力としてとらえられていたが、最近は精神的なものも暴力にあたるという認識が広がっている。そのことから、高齢者の方は、「殴る」などは比較的暴力と認識されていると思うが、74 頁の「他の異性との会話を許さない」について、「暴力と思わない」を選択されている方が 40%ほどいる。 114 頁の性に関する教育を開始する時期について、設問は男女差が大きく出てくる性徴期における教育が必要な時期を聞いていると推測するが、高齢者には性＝性行為と捉えている方もいるかと思う。今は幼児期から性について学ぶことも始まっているが、この設問の聞き方では分かりにくい人もいると思われるため、次の調査でははっきりと伝わるように見直したほうがよい。

会長	包括的性教育が少しずつ認識されてきている。性被害においては、生まれた直後のこどもでも被害に遭うことがあるため、極端なことを言えば0歳から必要とも言える。上尾市内でも包括的性教育は進めていきたい。
会長	●報告事項 ① 審議会等における女性の登用状況（令和6年10月時点）
事務局	審議会等における女性の登用状況について説明。
委員	●質疑応答 女性比率が40%に満たない理由の中で、回答として「委員の総数が3人であるため」が3委員会ほどある。これは「3人のうち女性を2人にしてしまうと、女性が66%で男性より多くなることなんて許されない」という意味に捉えられるがどうか。 「専門性が高く、女性が少ないため」という回答が記載されている。専門性が高いことをやっている人に男性が多く、女性が少ない現実があるというのはわかるが、女性は専門性が低いと捉えられてしまう。 「充て職」は一般的な用語ではないと思うため、解説をつけるか、別の分かりやすい表現にしたほうがよい。
委員	審議会の女性比率を上げる目的は、広く男女隔てなく意見を聞くことだと思う。例えば、委員会に来なくても情報共有して意見をもらう関わり方で比率を上げることはできると思う。
事務局	委員3名の委員会の女性比率についての理由の背景が、女性が2人になってしまうことは許されない、ということはないと思う。 文章の表現について表現の見直しを行うとともに、そのようなことはないと思うが、職員に女性は専門性が低いという認識があれば問題であるため、あれば意識を変えていく必要がある。 女性比率を上げる目的について、いただいた意見も含めて今後の計画策定に向けて、事務局で検討していく。
会長	専門性について、弁護士や税理士のように実際男女比に偏りがあるものであればわかりやすいが、「専門性が高い」だけでは曖昧になる。資格が必要ない場合には、推薦団体の自律性を侵さない程度に意見を伝えることはできるのではないか。
委員	男性の委員であっても女性視点を持って議論ができる人が必要、という観点もあるのではないかと思う。
会長	例えば、女性が性被害に遭った裁判で男性裁判官が無罪判決を下すと、「やはり男性裁判官は駄目だ」と言われることもある。しかし、「女性裁判官ならば女性被害者に有利な判断を下すはず」というわけではない。男女いずれであれ、裁判官は裁判官として職務を誠実に遂行するものだからである。
会長	しかし、現実には女性があまりにも少ない業界や職場がまだ多い実態がある。女性の数をただ増やせばいいというものではないが、今はまだとにかく女性の数を増やすことが初動として必要である段階の業界もある。

会長	●報告事項 ② 困難女性支援ネットワーク講演会 について
事務局	困難女性支援ネットワーク講演会 について説明。
委員	●質疑応答 悩みを抱えている生徒が多くいる。内容も非常によく、紹介した生徒たちも見てくれたのではないかなと思う。動画配信という手法は、対面では聞きづらい内容であったり都合がつかず行けない人にも非常に良い取り組みだったと思う。
委員	今、世の中の関心も高いテーマであるため、これを機に上尾市の誇れる取り組みを広めていければ良い。上尾市に住み続ける理由になるなど、色々なところに波及していくと思う。
会長	上尾市は先進的なことをやっているということをもっとアピールしていくと良い。
会長	●報告事項 ③ 第25回あげおヒューマンライツミーティング21について
事務局	第25回あげおヒューマンライツミーティング21について説明。
委員	●質疑応答 今までは講演会がメインの形で、それも有意義であったが、今年は様相が全然違っていた。小さなお子様連れの方が多く参加していて、楽しそうな雰囲気が伝わってきて、とても良かった。このような楽しみがないと、人権の意識が深まっていかなと思う。人権意識を学校現場できちんと教えようとする、ものすごく難しいため、とても良い場だったと思う。
委員	斎藤先生と話そうなど、インプットだけでなくアウトプットがあったのは良かった。
事務局	スタンプラリーはどのような感じだったのか。 こどもたちの滞在時間をどのように長くするかを考えた時に出たアイデアで、キッズダンスの子たちが発表だけして帰ってしまうようなことがないように、イベントにしっかり参加ができるようにした。
委員	スタンプラリーでは文字を探して行って最後に言葉ができるようにしたり、持って帰って読んでほしいことを書いておいたりすると、体験して心が動いた経験が、心に残るのでよいのではないかな。
事務局	ありがとうございます。
課長	●報告事項 委員の任期について説明
委員	●質疑応答 年度の切り替わりと任期が揃うのはありがたい。

委員 会長	検討して連絡する。 本日の議事を終わらせていただきたいと思います。 これで本日の議長を退任し、進行を事務局にお返しいたします。
課長	ありがとうございました。では、閉会のご挨拶をお願いいたします。
会長職務代理	●閉会挨拶 会長職務代理挨拶
課長	以上を持ちまして、上尾市男女共同参画審議会 令和6年度第2回会議を終了します。ありがとうございました。